

2018年8月8日

各 位

会 社 名 東京センチュリー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浅 田 俊 一
(コード番号 8439 東証1部)
問 合 せ 先 広 報 I R 部 長 山 下 圭 輔
(TEL 03-5209-6710)

川崎汽船株式会社との株式会社JERA向け新造LNG船
「ENSHU MARU (遠州丸)」の共同保有について

昨日、当社と川崎汽船株式会社（本社：東京都千代田区）が共同で保有する株式会社JERA（本社：東京都千中央区）向け新造LNG船の命名式が、川崎重工業株式会社（東京本社：東京都港区）坂出工場において執り行われました。

本船は、多くの関係者の見守る中、中部電力株式会社（本社：愛知県名古屋市）代表取締役会長の水野明久氏により、「ENSHU MARU (遠州丸)」と命名されました。船名は、中部電力株式会社の供給エリアの一つである、静岡県西部の旧国名「遠州国」に由来します。本船は、エルエヌジー・マリン・トランスポート株式会社（本社：東京都中央区）の運航管理下で株式会社JERA向けに投入され、米国テキサス州フリーポートLNGプロジェクトのLNG輸送などに従事し、我が国のエネルギーの安定輸送に貢献します。

当社は、「環境に配慮した循環型経済社会の実現への貢献」を経営理念に掲げており、本件LNG船の共有をはじめ、太陽光発電事業の推進など、環境に優しいエネルギー供給に努めています。船舶分野においても、今後、強化が予定される環境規制に適用したエコシップへの取り組みなど、環境負荷軽減を目指しており、「金融」×「サービス」×「事業」の3軸融合による最適なソリューションをお客さまに提供してまいります。

<「ENSHU MARU (遠州丸)」主要目>

船主	Trans Pacific Shipping 4 S.A. (*1)
建造造船所	川崎重工業株式会社 坂出工場
全長	約 293m
型幅	48.9m
タンク容積	164,700m ³
ボイルオフレート (*2)	0.08% / 日
推進機関	再熱式蒸気タービン (川崎アドバンストリヒートタービンプラント) (*3)
速力	19.5 ノット

(*1) 当社と川崎汽船株式会社が出資する船舶保有会社。

(*2) ボイルオフレート：カーゴタンク容積に対するLNGの自然気化率。タンクの防熱性能を表し、値が低いほど性能が高い。

(*3) 再熱式蒸気タービン：タービンを回転させた蒸気の熱を再利用することで、熱効率を大幅に改善した蒸気タービンプラント。



164,700m³ 型 LNG 船「ENSHU MARU (遠州丸)」

以上